



# 以前のバージョン機能を使用したファイルとフォルダのリカバリ

## ONTAP 9

NetApp  
February 12, 2026

# 目次

以前のバージョン機能を使用したファイルとフォルダのリカバリ .....	1
以前のバージョンを使用してONTAP SMBファイルとフォルダをリカバリする方法について説明します ..	1
Microsoft の以前のバージョンを使用するための ONTAP SMB の要件 .....	1
ONTAPのバージョンの要件 .....	1
SMBプロトコルのバージョン .....	1
Windowsクライアントの要件 .....	1
スナップショット設定の要件 .....	2
Windows の [以前のバージョン] タブを使用して ONTAP SMB Snapshot	
データを表示および管理します。 .....	2
ONTAP SMBスナップショットが以前のバージョンで使用可能かどうかを確認します .....	3
以前のバージョンへのアクセスを有効にするためにONTAP SMB スナップショット構成を作成する .....	4
ONTAP .....	5
SMBジャンクションを含む以前のバージョンのディレクトリを復元する方法について説明します。	

# 以前のバージョン機能を使用したファイルとフォルダのリカバリ

## 以前のバージョンを使用してONTAP SMBファイルとフォルダをリカバリする方法について説明します

Microsoft Previous Versions機能は、何らかの形でスナップショットをサポートし、有効になっているファイルシステムに適用されます。SnapshotテクノロジーはONTAPの不可欠な部分です。ユーザーは、Microsoft Previous Versions機能を使用して、Windowsクライアントからスナップショットからファイルやフォルダをリカバリできます。

以前のバージョン機能を使用すると、ユーザーはストレージ管理者の介入なしにスナップショットを参照したり、スナップショットからデータを復元したりできます。以前のバージョン機能は設定変更できません。常に有効になっています。ストレージ管理者が共有上でスナップショットを利用できるように設定している場合、ユーザーは以前のバージョン機能を使用して以下のタスクを実行できます：

- 誤って削除されたファイルを復元します。
- 誤ってファイルを上書きした場合の回復。
- 作業中にファイルのバージョンを比較します。

スナップショットに保存されるデータは読み取り専用です。ファイルに変更を加えるには、ファイルのコピーを別の場所に保存する必要があります。スナップショットは定期的に削除されるため、ファイルの以前のバージョンを無期限に保持したい場合は、以前のバージョンに含まれるファイルのコピーを作成する必要があります。

## Microsoft の以前のバージョンを使用するための ONTAP SMB の要件

CIFSサーバーで以前のバージョンを使用する前に、ONTAPとSMBのバージョン、およびWindowsクライアントが以前のバージョンをサポートしていることを確認する必要があります。また、Snapshot設定の要件についても知っておく必要があります。

### ONTAPのバージョンの要件

[以前のバージョン]機能がサポートされます。

### SMBプロトコルのバージョン

Storage Virtual Machine (SVM) については、すべてのバージョンのSMBで[以前のバージョン]機能がサポートされます。

### Windowsクライアントの要件

ユーザーが以前のバージョンを使用してスナップショット内のデータにアクセスするには、Windowsクライアントがこの機能をサポートしている必要があります。

[以前のバージョン]機能をサポートするWindowsクライアントに関する最新情報については、Interoperability Matrixを参照してください。

["NetApp Interoperability Matrix Tool"](#)

## スナップショット設定の要件

以前のバージョンを使用してスナップショット内のデータにアクセスするには、有効なスナップショットポリシーがデータを含むボリュームに関連付けられ、クライアントがスナップショットデータにアクセスできる必要があります。スナップショットが存在している必要があります。

## Windows の [以前のバージョン] タブを使用して ONTAP SMB Snapshot データを表示および管理します。

Windowsクライアントマシンのユーザーは、Windowsの [プロパティ] ウィンドウの [以前のバージョン] タブを使用して、Storage Virtual Machine (SVM) 管理者の介入なしにSnapshotに保存されているデータを復元できます。

### タスク概要

管理者が共有を含むボリューム上でSnapshotを有効にし、共有がSnapshotを表示するように設定している場合にのみ、[以前のバージョン] タブを使用して、SVM に保存されているデータのSnapshot内のデータを表示および管理できます。

### 手順

1. エクスプローラで、CIFSサーバに格納されたデータのマッピングされたドライブの内容を表示します。
2. Snapshotを表示または管理するマップされたネットワークドライブ内のファイルまたはフォルダーを右クリックします。
3. \*プロパティ\*をクリックします。

選択したファイルまたはフォルダのプロパティが表示されます。

4. \*Previous Versions\*タブをクリックします。

選択したファイルまたはフォルダの利用可能なスナップショットのリストが「フォルダバージョン：」ボックスに表示されます。リストされたスナップショットは、スナップショット名のプレフィックスと作成タイムスタンプで識別されます。

5. \*フォルダーのバージョン：\*ボックスで、管理するファイルまたはフォルダーのコピーを右クリックします。
6. 適切な処理を実行します。

状況	操作
そのSnapshotからデータを表示する	*Open*をクリックします。
そのSnapshotからデータのコピーを作成する	*Copy*をクリックします。

Snapshot内のデータは読み取り専用です。「以前のバージョン」タブに表示されているファイルやフォルダに変更を加える場合は、変更したいファイルやフォルダのコピーを書き込み可能な場所に保存し、そのコピーに対して変更を加える必要があります。

7. Snapshotデータの管理が完了したら、\*OK\*をクリックして\*プロパティ\*ダイアログボックスを閉じます。

[以前のバージョン]タブを使用してSnapshotデータを表示および管理する方法の詳細については、Microsoft TechNetライブラリを参照してください。

#### 関連情報

"Microsoft TechNetライブラリ : [technet.microsoft.com/ja-jp/library/](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/)"

## ONTAP SMBスナップショットが以前のバージョンで使用可能かどうかを確認します

「以前のバージョン」タブからスナップショットを表示できるのは、共有を含むボリュームに有効なスナップショットポリシーが適用されており、かつボリューム設定でスナップショットへのアクセスが許可されている場合のみです。スナップショットの可用性を確認することは、「以前のバージョン」へのアクセスに関するユーザーを支援する際に役立ちます。

#### 手順

1. 共有データが存在するボリュームで自動スナップショットが有効になっているかどうか、およびクライアントがスナップショットディレクトリにアクセスできるかどうかを確認します：  
`volume show -vserver vservice-name -volume volume-name -fields vservice,volume,snapsdir-access, snapshot-policy, snapshot-count`

出力には、ボリュームに関連付けられているSnapshotポリシー、クライアントSnapshotディレクトリアクセスが有効になっているかどうか、および使用可能なSnapshotの数が表示されます。

2. 関連付けられているスナップショット ポリシーが有効になっているかどうかを確認します：  
`volume snapshot policy show -policy policy-name`
3. 利用可能なスナップショットを一覧表示します：  
`volume snapshot show -volume volume_name`

スナップショット ポリシーとスナップショット スケジュールの構成と管理の詳細については、"[データ保護](#)"を参照してください。

#### 例

次の例では、共有データを含む「data1」という名前のボリュームに関連付けられたスナップショット ポリシーに関する情報と、「data1」上で使用可能なスナップショットを表示します。

```

cluster1::> volume show -vserver vs1 -volume data1 -fields
vserver,volume,snapshot-policy,snapdir-access,snapshot-count
vserver  volume snapdir-access snapshot-policy snapshot-count
-----
vs1      data1  true          default        10

cluster1::> volume snapshot policy show -policy default
Vserver: cluster1

                Number of Is
Policy Name      Schedules Enabled Comment
-----
default          3 true      Default policy with hourly, daily &
weekly schedules.
  Schedule      Count      Prefix      SnapMirror Label
-----
  hourly        6         hourly      -
  daily         2         daily       daily
  weekly        2         weekly      weekly

cluster1::> volume snapshot show -volume data1

                ---Blocks---
Vserver  Volume  Snapshot                State      Size Total% Used%
-----
vs1      data1
        weekly.2012-12-16_0015  valid      408KB    0%    1%
        daily.2012-12-22_0010  valid      420KB    0%    1%
        daily.2012-12-23_0010  valid      192KB    0%    0%
        weekly.2012-12-23_0015  valid      360KB    0%    1%
        hourly.2012-12-23_1405  valid      196KB    0%    0%
        hourly.2012-12-23_1505  valid      196KB    0%    0%
        hourly.2012-12-23_1605  valid      212KB    0%    0%
        hourly.2012-12-23_1705  valid      136KB    0%    0%
        hourly.2012-12-23_1805  valid      200KB    0%    0%
        hourly.2012-12-23_1905  valid      184KB    0%    0%

```

#### 関連情報

- [以前のバージョンへのアクセスを有効にするスナップショット構成を作成する](#)
- "データ保護"

## 以前のバージョンへのアクセスを有効にするためにONTAP SMB スナップショット構成を作成する

以前のバージョン機能は、スナップショットへのクライアント アクセスが有効になっており、スナップショットが存在する限り、いつでも利用できます。現在のスナップショ

ット設定がこれらの要件を満たしていない場合は、これらの要件を満たすスナップショット設定を作成できます。

#### 手順

1. 以前のバージョンへのアクセスを許可する共有を含むボリュームにスナップショット ポリシーが関連付けられていない場合は、`volume modify` コマンドを使用してボリュームにスナップショット ポリシーを関連付け、有効にします。

`volume modify`の詳細については、link:<https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/volume-modify.html>["ONTAPコマンド リファレンス"]をご覧ください。

2. `volume modify` コマンドを使用して `-snap-dir` オプションを `true` に設定し、スナップショットへのアクセスを有効にします。

`volume modify`の詳細については、link:<https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/volume-modify.html>["ONTAPコマンド リファレンス"]をご覧ください。

3. `volume show` および `volume snapshot policy show` コマンドを使用して、Snapshotポリシーが有効になっていることと、Snapshotディレクトリへのアクセスが有効になっていることを確認します。

`volume show` および `volume snapshot policy show`  
の詳細については、link:<https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/search.html?q=volume+show>["ONTAPコマンド リファレンス"]を参照してください。

スナップショット ポリシーとスナップショット スケジュールの構成と管理の詳細については、"[データ保護](#)"を参照してください。

#### 関連情報

["データ保護"](#)

## ONTAP SMBジャンクションを含む以前のバージョンのディレクトリを復元する方法について説明します。

以前のバージョンを使用してジャンクション ポイントを含むフォルダをリストアする場合は、一定のガイドラインについて理解しておく必要があります。

以前のバージョンを使用して、ジャンクション ポイントである子フォルダを持つフォルダを復元すると、`Access Denied` エラーが発生して復元が失敗する可能性があります。

復元しようとしているフォルダにジャンクションが含まれているかどうかを確認するには、`-parent` オプションを指定した `vol show` コマンドを使用します。また、`vserver security trace` コマンドを使用して、ファイルやフォルダへのアクセスに関する問題に関する詳細なログを作成することもできます。

関連情報

[NAS名前空間内のデータ ボリュームの作成と管理](#)

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。